

令和6年5月29日

北海道日高地域公共交通活性化協議会

## 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

日高地域の人口は 63,372 人(令和2年国勢調査)となっていますが、平成27年(2015年)人口に対する令和22年(2040年)人口の減少率は全国・全道を上回る見込みで、令和22年の人口は約 39,000 人まで減少すると推計されており、引き続き、地域で暮らし続けるための生活機能の維持・確保が必要です。

日高地域の公共交通は、令和3年(2021年)に JR 日高線(鷗川―様似間)が廃止されて以降、地域の広域公共交通はバスなしには成り立たない状況であり、高齢者の通院や学生の通学、買物などの地域住民の暮らしにおいて、地域中心都市(新ひだか町や浦河町など)や札幌市、苫小牧市などへの広域の移動に対する需要がある一方で、人口減少に伴う利用者の減少などにより主要幹線道路を運行しているバス路線の維持・確保が懸念されています。

公共交通を取り巻く環境が厳しさを増している中で、地域公共交通確保維持事業により住民の生活交通手段を存続させていくことが必要です。

## 2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

### (1) 事業の目標

(指標1) 広域交通及び地域間交通ネットワークの利用者数を 263,660 人／年以上とする。

(指標2) 広域交通及び地域間交通ネットワークの収支率を 32.6%以上とする。

(指標3) 広域交通及び地域間交通ネットワークの公的資金投入額を 114,709 千円／年以上とする。

(日高地域公共交通計画 P83 参照)

### (2) 事業の効果

ア 通学、通院、買物など生活に不可欠な移動手段である中核都市と地域中心都市等を結ぶ広域交通や地域中心都市と周辺町を結ぶ「地域間交通」について維持・確保を図る。

イ 広域交通及び地域間交通の維持・確保を継続的に行うため、地域間幹線系統及び市町村単独補助路線の最適化を図る。

ウ 並行するバス路線の運行調整を継続して、運行内容の最適化を図る。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
<p>ア 国</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の施策や他都道府県の先進事例に係る情報提供を行う。</li> <li>・地域間幹線系統へ北海道と協調的補助を行う。</li> <li>・地域間幹線系統の適用等について必要な助言を行う。</li> </ul> <p>イ 北海道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の施策や他都道府県の先進事例に係る情報提供を行う。</li> <li>・地域間幹線系統へ国と協調的補助を行う。</li> <li>・道、各町、確保協議会、交通事業者が連携してバス路線及び運行内容の最適化の検討や実施を行う。</li> </ul> <p>ウ 各町、確保協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な公共交通の必要性の確認・検証を続けながら、地域間幹線系統及び市町村単独補助路線において運行を維持するために必要となる欠損補填及び単独補助を行う。</li> <li>・道、各町、確保協議会、交通事業者が連携してバス路線及び運行内容の最適化の検討や実施を行う。</li> </ul> <p>エ 交通事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速バス、地域間幹線系統及び市町村単独補助路線を維持するための運行体制を継続する。</li> <li>・道、各町、確保協議会、交通事業者が連携してバス路線及び運行内容の最適化の検討や実施を行う。</li> </ul> <p>(日高地域公共交通計画 P89)</p>
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者
別添「表1」のとおり。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
北海道運輸局・道交通企画課において審査中。
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法
<p>(指標1、2) バス事業者保有のデータで毎年測定</p> <p>(指標3) 国・道・各町保有のデータで毎年計測</p> <p>(日高地域公共交通計画 P83 参照)</p>
7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要【地域間幹線系統のみ】
該当なし。
8. 別表1の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧【地域間幹線系統のみ】
該当なし。
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその特記事項【地域間幹線系統のみ】
別添「生産性向上の取組について」のとおり。
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要【地域内フィーダー系統のみ】
別添「表5」のとおり。
11. 車両の取得に係る目的・必要性【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし。

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
(1) 事業の目標	
該当なし。	
(2) 事業の効果	
該当なし。	
13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体・要する費用の総額、負担者とその負担額【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
該当なし。	
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
該当なし。	
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
該当なし。	
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
(1) 事業の目標	
該当なし。	
(2) 事業の効果	
該当なし。	
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
該当なし。	
18. 協議会の開催状況と主な議論	
令和6年4月23日（第1回）	法定協議会と地域協議会の統合について
5月29日（第2回）	令和5年度事業報告について
	令和5年度収支決算及び監査報告について
	令和6年度予算について
	令和7年度地域間幹線系統確保維持地域計画書等の策定について
	日高地域公共交通計画の改正について
	令和6年度振興局及び各団体の取組について
19. 利用者等の意見の反映状況	
当該系統は地域間幹線系統として重要性が高いことを踏まえて、あり方を検討しながら維持を図る。	

【本計画に関する担当者：連絡先】

（住 所）北海道浦河郡浦河町栄丘東通 56

（所 属）北海道日高振興局地域創生部地域政策課

（氏 名）村岡 拓

（電 話）0146-22-9073

（メール）muraoka.taku@pref.hokkaido.lg.jp



表3 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱別表1及び別表3の補助事業の基準二に基づき、地域協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

総合振興局・振興局名

番号	系統名	理 由	運行回数	
			土曜	日曜祝日

該当なし

(記載要領)

- ・「番号」の欄には、今年度補助を受けようとする系統の一連番号から抽出して記載
- ・「系統名」の欄は、「番号」の欄に対応した系統を記載
- ・「理由」の欄は、生活交通の確保に支障がないとした理由を記載

表4 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱別表1及び別表3の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

[illegible]

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)に係る収支改善計画 報告表 (策 定・ 振 返 り )

路線の概要	系 統 名	日高沿岸線①		起 点	静内		終 点	苫小牧駅前		路 線 の 維 持 目 的					関係する地域内フィーダー系統		
	事 業 者 名	道南バス株式会社		経 由 地		上厚真・沼ノ端駅北口		沿線各町住民の苫小牧市内までの通勤・通学・通院・買物、日高町・新冠町から静内市街までの買物などの交通手段確保のため					新冠町「厚賀太陽線」 日高町「広富線」「豊郷線」				
	関係市町村	新ひだか町(静内町)、新冠町、日高町(門別町)、むかわ町(鶴川町)、厚真町、苫小牧市															
路(補)線の補助実績状況	補 助 年 度	補 助 金 額 (千円)	(国)	(道)	キロ当たり 経常費用 (円)	地域標準 経常費用 (円)	キロ当たり 経常収益 (円)	1日当たり 運行回数 (回)	輸送人員 (人)	平 均 乗車密度 (人)	経 常 収 支 率 (%)	算定基準の該当(○×)	収 支 率	見 な し 回 数	競 合 率	市 町 村 負 担 額 (千円)	備 考
	4 (前々年度)	46,476	23,238.0	23,238.0	309.68	406.14	169.54	5.1	118,766	7.3	54.7	○	×	×	10,244.9	R6.4.1計画変更	
	5 (前年度)	48,825	24,412.5	24,412.5	327.12	436.25	155.85	5.1	112,092	6.5	47.6	○	×	×	4,801.2		
	6 (当該年度)	51,150	25,575.0	25,575.0	341.82	447.28	142.86	5.1	111,531	6.6	41.7	○	×	×	10,244.9		
収支改善に向けた検討内容	項 目	現 状 ※ 運行状況に基づく現状分析、取組の可能性を記載					当該年度における取組の具体的内容 ※ 取組主体を明記					取 組 結 果 (必要に応じ翌年度の取組予定) ※ 未実施の場合、理由と今後の対応方針を記載					
	収入の増加	①運行ルートの見直し ・他系統との再編・統合等	JR日高線(鶴川～様似間)廃止後の沿線住民の移動手段の確保と高校への通学・通院等の利便性を高めるため、経路・回数・時間等の見直しを実施。 主に国道235号線を運行しており、当該系統は經由地の異なる3系統を集約している。 一部の区間で、あつまバス、各町のコミュニティバス、自社路線と競合している。					利用動向及び各停留所の乗降の実態把握に努め改善について検討していく(道南バス)					概ね適正な運行ルートを設定していると判断するが、令和7年4月に供用開始が予定されている「富川バスターミナル」を結節点とした見直しについての協議を行った。				
		②運行方法の改善 ・運行回数 ・ダイヤ(乗継ぎ、時間帯、バス停)等	自社路線と重複する区間は時間調整している。 4市(室蘭、苫小牧、登別、伊達)連携支援によりバスロケーションシステム「バスキタ」を導入している。					引続き利用動向の把握に努め、改善について検討していく(道南バス)					他路線との乗継ぎを考慮し時刻変更を実施(6年4月) 運転手不足が解消されない中で更に労働時間等の改善にも取り組まなければならない、運行方法については今後関係自治体と協議する。				
		③利用促進 ・住民理解 ・普及、PR ・助成制度 等	バス車内での運賃の支払いにQRコード決済(PayPay)を実施している。 ホームページに時刻を掲載しているほか時刻表の配布等を実施し啓発に取り組んでいる。 自治体ホームページと当社ホームページとのリンクにより啓発に取り組んでいる。					当該路線の利用者拡大に向けJRと連携し実証事業に取り組む(道南バス) 継続して啓発に取り組んでいく(道南バス、関係自治体)					今後も路線を維持するための利用促進策や運行内容の見直し等、早急に関係自治体と検討・協議する。				
	費用削減	④削減・節約・効率化等	エコドライブの推進、指導を実施し燃料経費の削減に取り組んでいる。					現在の取り組みを継続して実施していく(道南バス)					引き続き取り組みを継続し、燃費向上に努める。 また運行便数の見直し等により車両運用の効率化を図り経費削減を図りたい。				
	路線の維持必要性	⑤輸送手段の適合性 ・バス運行及び他の輸送手段の検討等	「収支率」で補助対象経費カットの状況にある。 JR日高線(鶴川～様似間)廃止後の代替交通として通勤・通学・通院などに利用されており、沿線住民の交通手段として維持する必要性がある。					1市5町にわたる広域幹線であり、一定の輸送量が見込まれることから、今後も維持すべきと考える。 利用状況について意見交換を図る。(道南バス、関係自治体)					日高地域公共交通確保対策協議会において、路線の維持・必要性等について協議を行なっている。 持続可能な交通体系を構築するため、最適化についての検討・協議を行う。				
利用者意見等	◎計画作成に当たり実施した市町村、事業者及び協議会(会議)等による意見反映の方法(複数市町村の取組を含む)	<input type="checkbox"/> 生活交通確保に係る協議会等 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> ヒアリング、公聴会 <input type="checkbox"/> パブリックコメント <input type="checkbox"/> 市町村等が行う会議等 <input type="checkbox"/> その他					<b>【内容・実施日・対象者】</b> <b>【内容】</b> 日高地域広域公共交通確保対策協議会幹事会 <b>【実施日】</b> 令和5年12月26日 <b>【対象者】</b> 関係自治体(平取、日高、新冠、新ひだか、浦河、様似、えりも)、道南バス、ジェイ・アール北海道バス、JR北海道、北海道交通企画課、日高振興局					<b>【計画への反映等】</b> 状況や課題は共有できており、今後も協力体制のもと継続して取り組む。					
	検討状況	<b>【計画策定に関わった市町村名及び担当部署名】</b> 新ひだか町総務部企画課、新冠町企画課、日高町企画財政課 <b>【地域協議会コメント】</b> ( 年 月)					<b>【事業者及び市町村による振り返り】</b> (6年5月) 今後も事業者及び市町がより連携を深め、収支改善に向けた取り組みを継続し、地域住民の交通手段を確保する。 <b>【地域協議会による振り返り】</b> ( 年 月)										

## 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）に係る収支改善計画 報告表（策定・振り返り）

路線の概要	系 統 名	日高沿岸線①			起 点	静内		終 点	苫小牧駅前		路 線 の 維 持 目 的				関係する地域内フィーダー系統	
	事 業 者 名	道南バス株式会社			経 由 地		上厚真・沼ノ端駅北口		沿線各町住民の苫小牧市内までの通勤・通学・通院・買物、日高町・新冠町から静内市街までの買物などの交通手段確保のため				新冠町「厚賀太陽線」 日高町「広富線」「豊郷線」			
	関係市町村	新ひだか町（静内町）、新冠町、日高町（門別町）、むかわ町（鶴川町）、厚真町、苫小牧市														
路（補）の補助実績状況	補 助 年 度	補 助 金 額（千円）			キロ当たり 経常費用 （円）	地域標準 経常費用 （円）	キロ当たり 経常収益 （円）	1日当たり 運行回数 （回）	輸送人員 （人）	平 均 乗車密度 （人）	経 常 収 支 率 （%）	算定基準の該当（○×） 収 支 率 見 な し 競 合 率 回 数 率		市 町 村 負 担 額 （千円）	備 考	
	5 （前々年度）	48,825	24,412.5	24,412.5	327.12	436.25	155.85	5.1	112,092	6.5	47.6	○	×	×	4,801.2	
	6 （前 年 度）	51,150	25,575.0	25,575.0	341.82	447.28	142.86	5.1	111,531	6.6	41.7	○	×	×	10,244.9	
	7 （当該年度）	52,349	26,174.5	26,174.5	350.28	460.26	153.69	5.1	176,748	9.0	43.8	○	×	×	5,882.2	
収支改善に向けた検討内容	項 目		現 状 ※ 運行状況に基づく現状分析、取組の可能性を記載		当 該 年 度 に お け る 取 組 の 具 体 的 内 容 ※ 取組主体を明記				取 組 結 果（必要に応じ翌年度の取組予定） ※ 未実施の場合、理由と今後の対応方針を記載							
	収入の増加	①運行ルートの見直し ・他系統との再編・統合等	JR日高線（鶴川～様似間）廃止後の沿線住民の移動手段の確保と高校への通学・通院等の利便性を高めるため、経路・回数・時間等の見直しを実施。 主に国道235号線を運行しており、当該系統は経由地の異なる3系統を集约している。 一部の区間で、あつまバス、各町のコミュニティバス、自社路線と競合している。		利用動向及び各停留所の乗降の実態把握に努めるとともに、令和7年4月に供用開始予定の「富川バスターミナル」への乗り入れ、運行回数やダイヤ等の見直しについての協議を行う（道南バス）											
		②運行方法の改善 ・運行回数 ・ダイヤ（乗継ぎ、時間帯、バス停）等	自社路線と重複する区間は時間調整している。 4市（室蘭、苫小牧、登別、伊達）連携支援によりバスロケーションシステム「バスキタ」を導入している。													
		③利用促進 ・住民理解 ・普及、PR ・助成制度 等	バス車内での運賃の支払いにQRコード決済（PayPay）を実施している。 ホームページに時刻を掲載しているほか時刻表の配布等を実施し啓発に取り組んでいる。 自治体ホームページと当社ホームページとのリンクにより啓発に取り組んでいる。		沿線住民への周知及び利用促進についてバス事業者と沿線自治体とで協議し、具体的な利用促進策を実施する（道南バス、関係自治体）											
	費用の削減	④削減・節約・効率化等	エコドライブの推進、指導を実施し燃料経費の削減に取り組んでいる。		引き続き省エネ運転に関する取り組みを実践するとともに、路線再編により車両運用方法を見直すことで経費削減を図る（道南バス）											
路線の維持必要性	⑤輸送手段の適合性 ・バス運行及び他の輸送手段の検討等	「収支率」で補助対象経費カットの状況にある。 JR日高線（鶴川～様似間）廃止後の代替交通として通勤・通学・通院などに利用されており、沿線住民の交通手段として維持する必要性がある。		関係自治体との協議を今まで以上に行い、系統再編も含めた路線の維持方策について、協議する。（道南バス、関係自治体）												
利用者等の意見反映	◎計画作成に当たり実施した市町村、事業者及び協議会（会議）等による意見反映の方法（複数市町村の取組を含む）		<input type="checkbox"/> 生活交通確保に係る協議会等 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> ヒアリング、公聴会 <input type="checkbox"/> バブリックコメント <input type="checkbox"/> 市町村等が行う会議等 <input type="checkbox"/> その他		<b>【内容・実施日・対象者】</b> <b>【内容】</b> 日高地域広域公共交通確保対策協議会幹事会 <b>【実施日】</b> 令和6年度中 <b>【対象者】</b> 関係自治体（平取、日高、新冠、新ひだか、浦河、様似、えりも）、道南バス、ジェイ・アール北海道バス、JR北海道、北海道交通企画課、日高振興局				<b>【計画への反映等】</b>							
検討状況	【計画策定に関わった市町村名及び担当部署名】				【事業者及び市町村による振り返り】（ 年 月）											
	新ひだか町総務部企画課、新冠町企画課、日高町企画財政課															
	【地域協議会コメント】（ 年 月）				【地域協議会による振り返り】（ 年 月）											



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)に係る収支改善計画 報告表 (策定・**振り返り**)

路線の概要	系 統 名	日高沿岸線②		起 点	静内	終 点	浦河老人ホーム前	路 線 の 維 持 目 的						関係する地域内フィーダー系統			
	事 業 者 名	道南バス株式会社		経 由 地 静内温泉、三石温泉				新ひだか町から浦河日赤病院までの通院、新ひだか町と浦河町内間の通勤・通学、浦河町から新ひだか町市街までの買物などの交通手段確保のため									
	関係市町村	新ひだか町(静内町、三石町)、浦河町															
路線(補助実績状況)	補 助 年 度	補 助 金 額 (千円)	(国)	(道)	キロ当たり 経常費用 (円)	地域標準 経常費用 (円)	キロ当たり 経常収益 (円)	1日当たり 運行回数 (回)	輸送人員 (人)	平 均 乗車密度 (人)	経 常 収 支 率 (%)	算定基準の該当 (○×)	収 支 率	見 な し 回 数	競 合 率	市 町 村 負 担 額 (千円)	備 考
	4 (前年度)	11,537	5,768.5	5,768.5	309.68	406.14	114.33	3.6	39,094	3.5	36.9	○	○	×	14,997		
	5 (当該年度)	12,064	6,032.0	6,032.0	327.12	436.25	115.45	3.6	42,857	3.7	35.2	○	○	×	16,379		
	6 (当該年度)	12,602	6,301.0	6,301.0	341.82	447.28	113.26	3.6	38,840	3.3	33.1	○	○	×	11,022		
収支改善に向けた検討内容	項 目		現 状 ※ 運行状況に基づく現状分析、取組の可能性を記載				当該年度における取組の具体的内容 ※ 取組主体を明記				取 組 結 果 (必要に応じ翌年度の取組予定) ※ 未実施の場合、理由と今後の対応方針を記載						
	収入の増加	①運行ルートの見直し ・他系統との再編・統合等	JR日高線(鶴川～様似間)廃止後の沿線住民の移動手段の確保と高校への通学・通院等の利便性を高めるため、経路・回数・時間等の見直しを実施。 主に海岸に沿った国道235号線を運行しており、当該系統は経由地の異なる4系統を集約している。 静内・浦河間はジェイ・アール北海道バスと競合している。				利用動向及び各停留所の乗降の実態把握に努め改善について検討していく(道南バス)				令和6年10月1日から地域間幹線系統対象外路線となることから、路線の維持・必要性等、運行内容の見直し等について関係自治体と早急に検討・協議する。						
		②運行方法の改善 ・運行回数 ・ダイヤ(乗継ぎ、時間帯、バス停)等	自社路線と重複する区間は時間調整している。 4市(室蘭、苫小牧、登別、伊達)連携支援によりバスロケーションシステム「バスキタ」を導入している				引続き利用動向の把握に努め、改善について検討していく(道南バス)										
		③利用促進 ・住民理解 ・普及、PR ・助成制度 等	バス車内での運賃の支払いにQRコード決済(PayPay)を実施している。 ホームページに時刻を掲載しているほか時刻表の配布等を実施し啓発に取り組んでいる。 自治体ホームページと当社ホームページとのリンクにより啓発に取り組んでいる。				継続して啓発に取り組んでいく(道南バス、関係自治体)										
	費用削減	④削減・節約・効率化等	エコドライブの推進、指導を実施し燃料経費の削減に取り組んでいる。				現在の取り組みを継続して実施していく(道南バス)				引き続き取り組みを継続し、燃費向上に努める。 また運行便数の見直し等により車両運用の効率化を図り経費削減を図りたい。						
路線の維持・必要特性	⑤輸送手段の適合性 ・バス運行及び他の輸送手段の検討等	JR日高線(鶴川～様似間)廃止後の代替交通として通勤・通学・通院などに利用されており、沿線住民の交通手段として維持する必要があるが、運行回数・平均乗車密度の減少により、計画策定にあたり補助対象路線の要件(輸送量15人以上)が満たせない状況にある。				2町にわたる広域幹線であり、一定の輸送量が見込まれることから、今後も維持すべきと考える。 利用状況を共有し、改善に向け対応策を協議する。(道南バス、関係自治体)				日高地域公共交通確保対策協議会において、路線の維持・必要性等について協議を行なっている。 運転手不足、運転手の高齢化、労働時間の改善等の状況から、早急に検討・協議を行う。							
利用意見等の反映	◎計画作成に当たり実施した市町村、事業者及び協議会(会議)等による意見反映の方法(複数市町村の取組を含む)		<input type="checkbox"/> 生活交通確保に係る協議会等 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> ヒアリング、公聴会 <input type="checkbox"/> パブリックコメント <input type="checkbox"/> 市町村等が行う会議等 <input type="checkbox"/> その他		<b>【内容・実施日・対象者】</b> <b>【内容】</b> 日高地域広域公共交通確保対策協議会幹事会 <b>【実施日】</b> 令和5年12月26日 <b>【対象者】</b> 関係自治体(平取、日高、新冠、新ひだか、浦河、様似、えりも)、道南バス、ジェイ・アール北海道バス、JR北海道、北海道交通企画課、日高振興局						<b>【計画への反映等】</b> 状況や課題は共有できており、今後も協力体制のもと継続して取り組む。						
検討状況	【計画策定に関わった市町村名及び担当部署名】				【事業者及び市町村による振り返り】(6年5月)												
	新ひだか町総務部企画課、浦河町企画課				今後も事業者及び市町がより連携を深め、収支改善に向けた取り組みを継続し、地域住民の交通手段を確保する。												
	【地域協議会コメント】(3年6月)				【地域協議会による振り返り】( 年 月)												
	引き続き経費節減に努めるとともに、関係自治体と事業者が連携し、生産性向上に向けた取組を進め、路線の維持を図ること。																

## 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)に係る収支改善計画 報告表 (策定・振り返り)

路線の概要	系 統 名 日勝線①			起 点 様似営業所		終 点 向別		路 線 の 維 持 目 的						関係する地域内フィーダー系統	
	事 業 者 名 ジェイ・アール北海道バス(株)			経 由 地 浦河老人ホーム				・様似町から浦河高校への通学のため利用されている。 ・様似および浦河町民の日赤病院への通院のために利用されている。							
	関係市町村 浦河町、様似町														

  

路（線）補助実績状況	補 助 年 度	補 助 金 額 (千円)			キロ当たり 経常費用 (円)	地域標準 経常費用 (円)	キロ当たり 経常収益 (円)	1日当たり 運行回数 (回)	輸送人員 (人)	平 均 乗車密度 (人)	経 常 収 支 率 (%)	算定基準の該当 (○×)			市 町 村 負 担 額 (千円)	備 考
		(国)	(道)									収 支 率	見 な し 回 数	競 合 率		
	5 (前々年度)	28,913	14,456.5	14,456.5	565.29	436.25	221.17	8.3	64,481	4.3	50.69	○	×	×	無	
	6 (前年度)	30,263	15,131.5	15,131.5	595.84	447.28	197.66	8.4	61,961	3.7	44.19	○	×	×	無	
7 (当該年度)	31,051	15,525.5	15,525.5	612.07	460.26	183.90	8.4	61,591	3.4	39.95	○	○	×	無		

  

収 支 改 善 に 向 け た 検 討 内 容	項 目		現 状 ※ 運行状況に基づく現状分析、取組の可能性を記載	当 該 年 度 に お け る 取 組 の 具 体 的 内 容 ※ 取組主体を明記	取 組 結 果 (必要に応じ翌年度の取組予定) ※ 未実施の場合、理由と今後の対応方針を記載
	収入の増加	①運行ルートの見直し ・他系統との再編・統合等	・浦河高校や日赤病院等の拠点施設にアクセスできる系統であり、一部の区間で道南バス、自社路線と競合している。	・JR日高線のバス転換に伴い、令和5年4月にダイヤ再編を行ったため事業者としては見直しの計画はない。	
		②運行方法の改善 ・運行回数 ・ダイヤ(乗継ぎ、時間帯、バス停)等	・浦河高校及び日赤病院等、沿線地域の拠点施設にアクセスする系統であるため、現行の運行回数を維持する必要がある。	・事業者にて定期的に調査を行い、利用実態の把握に努める。	
		③利用促進 ・住民理解 ・普及、PR ・助成制度 等	・浦河町にて敬老優待乗車証を発行している。 ・事業者にて当該系統と自社都市間バス(ひろおサンタ号)との接続を確保しているほか、HP上に補助系統であることを掲載し、周知を図っている。 ・HPで片道、定期運賃等を検索できるようにしている。	・浦河町にて引き続き敬老優待乗車証を発行。 ・事業者にて引き続き当該系統と自社都市間バスとの接続を確保するほか、必要な情報の提供に取り組む。 ・ICカード導入で利用促進につなげる。 ・ノンステップバス導入を行い利用促進につなげる。	
	費用削減	④削減・節約・効率化等	・デジタルタコグラフの活用によるエコドライブの促進、エンジン回転数を抑止し、燃費の改善につなげるよう乗務員に指導をしている。	・引き続き燃料消費率を改善する取り組みを継続する。	
路線の維持	⑤輸送手段の適合性 ・バス運行及び他の輸送手段の検討等	・通学、通院利用を中心とした生活交通の役割が高い系統のため、バス路線として維持されることが望ましい。	・事業者にて輸送人員の調査を定期的に行い、引き続き利用実態の把握に努める。		

  

利用者の意見反映	◎計画作成に当たり実施した市町村、事業者及び協議会(会議)等による意見反映の方法(複数市町村の取組を含む)	<input type="checkbox"/> 生活交通確保に係る協議会等 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> ヒアリング、公聴会 <input type="checkbox"/> パブリックコメント <input type="checkbox"/> 市町村等が行う会議等 <input type="checkbox"/> その他	【内容・実施日・対象者】	【計画への反映等】

  

検 討 状 況	【計画策定に関わった市町村名及び担当部署名】	【事業者及び市町村による振り返り】 ( 年 月 )
	浦河町企画課、様似町企画調整課	
	【地域協議会コメント】 ( 年 月 )	【地域協議会による振り返り】 ( 年 月 )

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)に係る収支改善計画 報告表 (策定・**振り返り**)

路線の概要	系 統 名 日勝線①				起 点 様似営業所		終 点 向別		路 線 の 維 持 目 的					関係する地域内フィーダー系統		
	事 業 者 名 ジェイ・アール北海道バス(株)				経 由 地 浦河老人ホーム				・様似町から浦河高校への通学のため利用されている。 ・様似および浦河町民の日赤病院への通院のために利用されている。							
	関係市町村 浦河町、様似町															
路（補 線の 補助 運行 状況）	補 助 年 度	補 助 金 額 (千円)		キロ当たり 経常費用 (円)	地域標準 経常費用 (円)	キロ当たり 経常収益 (円)	1日当たり 運行回数 (回)	輸送人員 (人)	平 均 乗車密度 (人)	経 常 収 支 率 (%)	算定基準の該当 (○×)			市 町 村 負 担 額 (千円)	備 考	
		(国)	(道)								収 支 率	見 な し 回 数	競 合 率			
	4 (前々年度)	23,371	11,685.5	11,685.5	544.76	406.14	241.36	8.8	56,894	6.0	59.42	×	×	×		無
	5 (前 年 度)	28,913	9,134.0	9,134.0	565.29	436.25	221.17	8.3	64,481	4.3	50.69	○	×	×		無
	6 (当該年度)	30,263	15,131.5	15,131.5	595.84	447.28	197.66	8.4	61,961	3.7	44.19	○	×	×	無	
収支改善に向けた検討内容	項 目		現 状 ※ 運行状況に基づく現状分析、取組の可能性を記載		当 該 年 度 に お け る 取 組 の 具 体 的 内 容 ※ 取組主体を明記				取 組 結 果 (必要に応じ翌年度の取組予定) ※ 未実施の場合、理由と今後の対応方針を記載							
	収入の増加	①運行ルートの見直し ・他系統との再編・統合等	・様似町と浦河町に跨がる系統としては様似営業所～上野深が当該系統と並行している。		・上野深系統については浦河町からの委託運行となっており、経路、運行時間帯等も異なることから、事業者として系統の再編・統合は現時点で考えていない。				・令和5年4月に、沿線自治体の要望を受けて路線再編を行った。							
		②運行方法の改善 ・運行回数 ・ダイヤ(乗継ぎ、時間帯、バス停)等	・浦河高校及び日赤病院等、沿線地域の拠点施設にアクセスする系統であり、現在の運行回数は確保する必要がある。		・事業者にて定期的に調査を行い、利用実態の把握に努める。				・令和4年4月の路線再編により、系統の統合を行ったため運行回数が増加した。							
		③利用促進 ・住民理解 ・普及、PR ・助成制度 等	・浦河町にて敬老優待乗車証を発行している。 ・HP上に補助系統であることを掲載し、周知を図っている。 ・HPで片道、定期運賃等を検索できるようにしている。		・浦河町にて引き続き敬老優待乗車証を発行。 ・事業者にて引き続き当該系統と自社都市間バスとの接続を確保するほか、必要な情報の提供に取り組む。				・沿線自治体にて時刻表を作成し、日高管内の役場庁舎等に設置・配布を行った。 ・お客様に安心してご利用いただけるように新型コロナウイルス感染防止に関わる取り組みを行った。							
	費用削減	④削減・節約・効率化等	・デジタルタグラフの活用によるエコドライブの促進、エンジン回転数を抑止し、燃費の改善につなげるよう乗務員に指導をしている。		・引き続き燃料消費率を改善する取り組みを継続する。				・エコドライブは乗務員に浸透しているが、引き続き継続して取り組む。							
路線の維持必要性	⑤輸送手段の適合性 ・バス運行及び他の輸送手段の検討等	・通学、通院利用を中心とした生活交通の役割が高い系統のため、バス路線として維持されることが望ましい。		・事業者にて輸送人員の調査を定期的に実施し、引き続き利用実態の把握に努める。				・利用者は減少傾向にありつつも学生を中心に一定の利用があることから、当該系統の維持は必要だが、運行の効率性向上等について今後も関係機関と検討、協議していく。								
利用者等の意見反映	◎計画作成に当たり実施した市町村、事業者及び協議会(会議)等による意見反映の方法(複数市町村の取組を含む)		<input checked="" type="checkbox"/> 生活交通確保に係る協議会等 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> ヒアリング、公聴会 <input type="checkbox"/> パブリックコメント <input type="checkbox"/> 市町村等が行う会議等 <input type="checkbox"/> その他		【内容・実施日・対象者】  浦河町地域公共交通確保維持改善協議会 令和6年2月21日				【計画への反映等】  当該系統は地域間幹線系統として重要性が高いことを踏まえて、あり方を検討しながら維持を図る。							
検討状況	【計画策定に関わった市町村名及び担当部署名】  浦河町企画課、様似町企画調整課				【事業者及び市町村による振り返り】(令和6年5月) 国・道の補助により系統が維持されていることの周知および燃料消費率の改善に取り組んだが、次年度以降も利用促進、経費節減に取り組みながら、必要に応じ当該系統を含めた地域交通のあり方について検討を進める。											
	【地域協議会コメント】( 年 月 )				【地域協議会による振り返り】( 年 月 )											

## 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)に係る収支改善計画 報告表 (策定・振り返り)

路線の概要	系 統 名	日勝線②			起 点	静内		終 点	様似営業所		路 線 の 維 持 目 的				関係する地域内フィーダー系統	
	事 業 者 名	ジェイ・アール北海道バス(株)			経 由 地	本桐			・新ひだか町(静内)や浦河町内への通勤・通学・通院・買い物などの交通手段の確保のため							
	関係市町村	新ひだか町、浦河町、様似町														
路（線）補助実績状況	補 助 年 度	補 助 金 額 (千円)			キロ当たり 経常費用 (円)	地域標準 経常費用 (円)	キロ当たり 経常収益 (円)	1日当たり 運行回数 (回)	輸送人員 (人)	平 均 乗車密度 (人)	経 常 収 支 率 (%)	算定基準の該当 (○×)		市 町 村 負 担 額 (千円)	備 考	
		(国)	(道)									収 支 率	見 な し 回 数	競 合 率		
	5 (前々年度)	55,478	27,739.0	27,739.0	565.29	436.25	153.91	4.9	89,854	5.7	35.28	○	×	×	無	
	6 (前年度)	53,318	26,659.0	26,659.0	595.84	447.28	168.39	4.5	51,338	6.4	37.64	○	×	×	無	
7 (当該年度)	57,495	28,747.5	28,747.5	612.07	460.26	183.69	4.8	59,649	6.1	39.91	○	×	×	無		
収支改善に向けた検討内容	項 目		現 状 ※ 運行状況に基づく現状分析、取組の可能性を記載				当 該 年 度 に お け る 取 組 の 具 体 的 内 容 ※ 取組主体を明記				取 組 結 果 (必要に応じ翌年度の取組予定) ※ 未実施の場合、理由と今後の対応方針を記載					
	収入の増加	①運行ルートの見直し ・他系統との再編・統合等	・JR日高線の転換バスとして令和3年4月から運行を開始し、道南バスや自社路線と競合している。				・利用実態の把握に努め、沿線自治体と事業者で適切な運行ルートを検討する。									
		②運行方法の改善 ・運行回数 ・ダイヤ(乗継ぎ、時間帯、バス停)等	・自治体の意見に基づきダイヤ等の設定を行っているが、住民が利用しやすいダイヤを検討する必要がある。				・利用実態を把握に努め、沿線自治体と事業者で適切なダイヤなどを検討する。									
		③利用促進 ・住民理解 ・普及、PR ・助成制度 等	・浦河町にて敬老優待乗車証を発行している。 ・新ひだか町にて運賃助成制度を行っている。 ・HPで片道、定期運賃等を検索できるようにしている。				・自治体にて引き続き敬老福祉事業の実施。 ・事業者にて引き続き必要な情報の提供に取り組む。 ・ICカードの導入で利用促進につなげる。 ・ノンステップバス導入を行い利用促進につなげる。									
	費用減の	④削減・節約・効率化等	・デジタルタコグラフの活用によるエコドライブの促進、エンジン回転数を抑止し、燃費の改善につなげるよう乗務員に指導をしている。				・引き続き燃料消費率を改善する取り組みを継続する。									
路線の維持必要性	⑤輸送手段の適合性 ・バス運行及び他の輸送手段の検討等	・通学、通院利用を中心とした生活交通の役割が高い系統のため、バス路線として維持されることが望ましい。				・事業者にて輸送人員の調査を定期的を実施し、引き続き利用実態の把握に努める。										
利用者等の意見反映	◎計画作成に当たり実施した市町村、事業者及び協議会(会議)等による意見反映の方法(複数市町村の取組を含む)		<input type="checkbox"/> 生活交通確保に係る協議会等 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> ヒアリング、公聴会 <input type="checkbox"/> パブリックコメント <input type="checkbox"/> 市町村等が行う会議等 <input type="checkbox"/> その他				【内容・実施日・対象者】				【計画への反映等】					
検討状況	【計画策定に関わった市町村名及び担当部署名】						【事業者及び市町村による振り返り】( 年 月)									
	新ひだか町企画課、浦河町企画課、様似町企画調整課															
	【地域協議会コメント】( 年 月)						【地域協議会による振り返り】( 年 月)									

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)に係る収支改善計画 報告表 (策定・振り返り)

路線の概要	系 統 名 日勝線②		起 点 静内		終 点 様似営業所		路 線 の 維 持 目 的						関係する地域内フィーダー系統			
	事 業 者 名 ジェイ・オール北海道バス(株)		経 由 地 本 桐				・新ひだか町(静内)や浦河町内への通勤・通学・通院・買い物などの交通手段の確保のため									
	関係市町村 新ひだか町、浦河町、様似町															
路(補助線の運行状況等)	補助年度	補 助 金 額 (千円)		キロ当たり 経常費用 (円)	地域標準 経常費用 (円)	キロ当たり 経常収益 (円)	1日当たり 運行回数 (回)	輸送人員 (人)	平 均 乗車密度 (人)	経 常 収 支 率 (%)	算定基準の該当(○×)		市 町 村 負 担 額 (千円)	備 考		
		(国)	(道)								収 支 率	見 な し 回 数	競 合 率			
	4 (前々年度)	38,462	19,231.0	19,231.0	513.70	406.14	217.34	3.6	89,854	9.3	53.51	○	×		×	無
	5 (前年度)	55,478	27,739.0	27,739.0	565.29	436.25	153.91	4.9	89,854	5.7	35.28	○	×		×	無
6 (当該年度)	53,318	26,659.0	26,659.0	595.84	447.28	168.39	4.5	51,338	6.4	37.64	○	×	×	無		
収支改善に向けた検討内容	項 目		現 状 ※ 運行状況に基づく現状分析、取組の可能性を記載				当 該 年 度 に お け る 取 組 の 具 体 的 内 容 ※ 取組主体を明記				取 組 結 果 (必要に応じ翌年度の取組予定) ※ 未実施の場合、理由と今後の対応方針を記載					
	収入の増加	①運行ルートの見直し ・他系統との再編・統合等	・JR日高線の転換バスとして令和3年4月から運行を開始し、道南バスや自社路線と競合している。				・利用実態の把握に努め、沿線自治体と事業者で適切な運行ルートを検討する。				・令和4年4月に沿線自治体の要望を受けて路線再編を行った。					
		②運行方法の改善 ・運行回数 ・ダイヤ(乗継ぎ、時間帯、バス停)等	・自治体の意見に基づきダイヤ等の設定を行っているが、住民が利用しやすいダイヤを検討する必要がある。				・利用実態を把握に努め、沿線自治体と事業者で適切なダイヤなどを検討する。				・令和4年4月の路線再編により、系統の統合を行ったため運行回数が増加した。					
		③利用促進 ・住民理解 ・普及、PR ・助成制度 等	・浦河町にて敬老優待乗車証を発行している。 ・新ひだか町にて運賃助成制度を行っている。 ・HPで片道、定期運賃等を検索できるようにしている。				・自治体にて引き続き敬老福祉事業の実施。 ・事業者にて引き続き必要な情報の提供に取り組む。				・沿線自治体にて時刻表を作成し、日高管内の役場庁舎等に設置・配布を行った。 ・お客様に安心してご利用いただけるように新型コロナウイルス感染防止に関わる取り組みを行った。					
		費用削減	④削減・節約・効率化等	・デジタルタコグラフの活用によるエコドライブの促進、エンジン回転数を抑止し、燃費の改善につなげるよう乗務員に指導をしている。				・引き続き燃料消費率を改善する取り組みを継続する。				・エコドライブは乗務員に浸透しているが、引き続き継続して取り組む。				
		路線の維持必要性	⑤輸送手段の適合性 ・バス運行及び他の輸送手段の検討等	・通学、通院利用を中心とした生活交通の役割が高い系統のため、バス路線として維持されることが望ましい。				・事業者にて輸送人員の調査を定期的実施し、引き続き利用実態の把握に努める。				・利用者数は減少傾向にありつつも学生を中心に一定の利用があることから、当該系統の維持は必要だが、運行の効率性向上等について今後も関係機関と検討、協議していく。				
利用意見反映	◎計画作成に当たり実施した市町村、事業者及び協議会(会議)等による意見反映の方法(複数市町村の取組を含む)		<input checked="" type="checkbox"/> 生活交通確保に係る協議会等 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> ヒアリング、公聴会 <input type="checkbox"/> パブリックコメント <input type="checkbox"/> 市町村等が行う会議等 <input type="checkbox"/> その他				【内容・実施日・対象者】  【内容】日高地域広域公共交通確保対策協議会 【実施日】令和5年4月20日				【計画への反映等】					
検討状況	【計画策定に関わった市町村名及び担当部署名】				【事業者及び市町村による振り返り】(令和6年5月)											
	新ひだか町企画課、浦河町企画課、様似町企画調整課				国・道の補助により系統が維持されていることの周知および燃料消費率の改善に取り組んだが、次年度以降も利用促進、経費節減に取り組みながら、必要に応じ当該系統を含めた地域交通のあり方について検討を進める。											
【地域協議会コメント】( 年 月)				【地域協議会による振り返り】( 年 月)												

別 紙 「生産性向上の取組について」

年度	番号	系統名	広域行政圏名	中心市 町村名	起点	経由地	終点	令和6年度計画内容 (当初)		【中間点検】令和6年度計画内容 (原則、令和6年3月末時点)		
								生産性向上の取組に係る 取組内容、実施主体、実施時期	生産性向上の取組に係る 定量的な効果目標	生産性向上の取組に係る 取組内容、実施主体、実施時期	効果目標の達成状況	備考
R7								※R6計画策定時の内容を転記してください。		中間点検として、令和6年3月末時点での実績値を記入してください。 なお、基準時点を3月末時点とできない事情がある場合は、備考欄に基準時点とその理由・考え方を記載してください。		
R7		日高沿岸 線①	日高広域市町村 圏 東胆振広域市町村 圏	新ひだ か町 苫小牧 市	静内	上厚 真・沼 ノ端駅 北口	苫小牧 駅前	(利用促進) ・道南バス及び各市町、東胆振定住自立 圏、nittan地域戦略会議が行う運行情報 の提供や啓発・周知活動等の取組につい て継続実施。 ・胆振・日高バスマップを各市町のＨＰ にリンク。 ・市町デマンドバスの運行情報の提供や 啓発、周知活動等の取組の継続実施。 ・各市町ＨＰと道南バスＨＰの相互リン クを継続実施し、定期的（ダイヤ改正時 等）に情報やアドレス先の確認を行い、 必要に応じ修正。 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的 に行い、計画的な修繕や清掃の実施・検 討。 ・バスの「乗り方教室」の検討。	(利用促進) 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収 を見込む。  【基準年：令和5年3月末時点（令和４年 度実績）】 ・経常収益 46,038,265円 ・経常費用 114,829,638円 ・経常収支 ▲68,791,373円 ・収支率 40.0%  【取組目標年：令和6補助年度】 ・経常収益 47,082,265円（約1,044 千円増加） ・経常費用 114,829,638円（増減なし） ・経常収支 ▲67,747,373円 ・収支率 41.0%（収支改善率 1.0%）	(利用促進) ・道南バス及び各市町、東胆振定住自立 圏、nittan地域戦略会議が行う運行情報 の提供や啓発・周知活動等の取組につい て継続実施。 ・胆振・日高バスマップを各市町のＨＰ にリンク。 ・市町デマンドバスの運行情報の提供や 啓発、周知活動等の取組の継続実施。 ・各市町ＨＰと道南バスＨＰの相互リン クを継続実施し、定期的（ダイヤ改正時 等）に情報やアドレス先の確認を行い、 必要に応じ修正。 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的 に行い、計画的な修繕や清掃の実施・検 討。 ・バスの「乗り方教室」の検討。	【R5見込額】R6.3月末時点  ・経常収益 97,568,414円 ・経常費用 118,389,371円 ・経常収支 ▲20,820,957円 ・収支率 82.4%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価 を計画策定時の単価からより実態に即し た「事業者単価（R5実績）」に変更して いる ・中間点検ではR5実績とR4.4-R5.3との輸 送人員を比較しその増減割合をR5実績に 乗じて収益を算出している
R7		日勝線①	日高広域市町村 圏	浦河町	様似 営業所	浦河老人ホーム	向別	(利用促進) ・各町発行の広報紙を活用し公共交通に 関するＰＲを実施。 ・高校生への通学費助成事業の継続実 施：浦河町・様似町 ・浦河シニアバスポート事業（敬老乗車 証）の継続実施：浦河町・ジェイ・アルバス ・各町ＨＰとジェイ・アル北海道バスＨ Ｐの相互リンク又は路線図・時刻表の掲 載を継続実施。 ・ジェイ・アル北海道バス及び各町、 nittan地域戦略会議が行う運行情報の提 供や啓発・周知活動等の取組について継 続実施。 ・町の声掛けによる自家用車を使わず、 バスを利用する「ノーマイカーデー」の 実施。 ・胆振・日高バスマップを各町のＨＰに リンク。 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的 に行い、計画的な修繕や清掃の検討。	◎左記の取り組みを行うことで利用増を 見込む。  【基準年：令和5年3月末時点】 ・経常収益 9,029,428円 ・経常費用 42,946,797円 ・経常収支 ▲33,917,369円 ・収支率 21.0%  【取組目標年：令和6年補助年度】 ・経常収益 29,719,327円 ・経常費用 67,251,142円 ・経常収支 ▲37,531,815円 ・収支率 44.2%	(利用促進) ・各町発行の広報紙を活用し公共交通に 関するＰＲを実施。 ・高校生への通学費助成事業の継続実 施：浦河町・様似町 ・浦河シニアバスポート事業（敬老乗車 証）の継続実施：浦河町・ジェイ・アルバス ・各町ＨＰとジェイ・アル北海道バスＨ Ｐの相互リンク又は路線図・時刻表の掲 載を継続実施。 ・ジェイ・アル北海道バス及び各町、 nittan地域戦略会議が行う運行情報の提 供や啓発・周知活動等の取組について継 続実施。 ・町の声掛けによる自家用車を使わず、 バスを利用する「ノーマイカーデー」の 実施。 ・胆振・日高バスマップを各町のＨＰに リンク。 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的 に行い、計画的な修繕や清掃の検討。	【R06見込額】R06.3現在 ・経常収益 15,740,110円 ・経常費用 46,285,743円 ・経常収支 ▲30,545,633円 ・収支率 34.0%	
R7		日勝線②	日高広域市町村 圏	新ひだ か町	静内	西端生 活館・ 本桐・ 常盤通	様似 営業所	(利用促進) ・各町発行の広報紙を活用し公共交通に 関するＰＲを実施。 ・高校生への通学費助成事業の継続実 施：浦河町・様似町 ・浦河シニアバスポート事業（敬老乗車 証）の継続実施：浦河町・ジェイ・アルバス ・各町ＨＰとジェイ・アル北海道バスＨ Ｐの相互リンク又は路線図・時刻表の掲 載を継続実施。 ・ジェイ・アル北海道バス及び各町、 nittan地域戦略会議が行う運行情報の提 供や啓発・周知活動等の取組について継 続実施。 ・町の声掛けによる自家用車を使わず、 バスを利用する「ノーマイカーデー」の 実施。 ・胆振・日高バスマップを各町のＨＰに リンク。 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的 に行い、計画的な修繕や清掃の検討。	◎左記の取り組みを行うことで利用増を 見込む。  【基準年：令和5年3月末時点】 ・経常収益 14,415,915円 ・経常費用 81,030,359円 ・経常収支 ▲66,614,444円 ・収支率 17.8%  【取組目標年：令和6年補助年度】 ・経常収益 46,874,516円 ・経常費用 124,516,176円 ・経常収支 ▲77,641,660円 ・収支率 37.6%	(利用促進) ・各町発行の広報紙を活用し公共交通に 関するＰＲを実施。 ・高校生への通学費助成事業の継続実 施：浦河町・様似町 ・浦河シニアバスポート事業（敬老乗車 証）の継続実施：浦河町・ジェイ・アルバス ・各町ＨＰとジェイ・アル北海道バスＨ Ｐの相互リンク又は路線図・時刻表の掲 載を継続実施。 ・ジェイ・アル北海道バス及び各町、 nittan地域戦略会議が行う運行情報の提 供や啓発・周知活動等の取組について継 続実施。 ・町の声掛けによる自家用車を使わず、 バスを利用する「ノーマイカーデー」の 実施。 ・胆振・日高バスマップを各町のＨＰに リンク。 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的 に行い、計画的な修繕や清掃の検討。	【R06見込額】R06.3現在 ・経常収益 27,354,872円 ・経常費用 54,519,410円 ・経常収支 ▲27,164,538円 ・収支率 50.2%	

別 紙 「生産性

年度	番号	系統名	令和7年度計画内容					備 考
			生産性向上の取組に係る 取組内容、実施主体、実施時期	生産性向上の取組に係る 定量的な効果目標	令和5年度の 収支率（実績値）	中間点検時点 （原則、令和6年3月末時点）での 収支率	令和7年度計画の 収支率	
R7		「表1」 記載	<p>（路線再編）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ＪＲ駅前広場整備事業の事業主体である◎◎市と協議を行い、令和5年〇月にＪＲ駅前への乗り入れを実施する。（取組主体：◎◎市、◎◎バス）</li></ul> <p>（利用促進）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・◎◎市と連携しながら標準的なバス情報フォーマット（ＧＴＦＳ－ＪＰ）を作成・公表し、〇月を目途にgoogle mapsで経路検索ができるようにする。（取組主体：◎◎市、◎◎バス）</li></ul> <p>（貨客混載）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年〇月から◎◎運輸と協力し、■●～■●で実証的に貨客混載を開始する。（取組主体：◎◎バス、◎◎運輸）</li></ul> <p>（混乗化）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年〇月から〇〇高校のスクールバスとの混乗化を開始した。（取組主体：〇〇高校、◎◎バス）</li></ul>	<p>◎◎駅前広場への乗入れによる鉄道とバスの乗換えの利便性を高め、経路検索を可能とすることにより、利用人員の増加を見込む。 また、貨客混載やスクールバスとの混乗化による収益増を見込む。</p> <p>【基準年：令和6年3月末時点】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経常収益 ◎◎◎円</li><li>・経常費用 ◎◎◎円</li><li>・経常収支 ▲◎◎◎円</li><li>・収支率 50.0%</li></ul> <p>【取組目標年：令和7補助年度】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経常収益 ◎◎◎円（約◎◎◎千円増加）</li><li>・経常費用 ◎◎◎円（増減なし）</li><li>・経常収支 ▲◎◎◎円</li><li>・収支率 51.0%（収支改善率1.0%）</li></ul>	49.9%	50.0%	51.0%	目標となる収支率は、原則、令和5年9月末時点での収支率＋1%以上の数値を設定してください。ただし、中間点検の結果を勘案し他の考え方に基づき目標値を設定する場合は、備考欄でその考え方を明記してください。
R7		日高沿岸線①	<p>（利用促進）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道南バス及び各市町、東胆振定住自立圏、nittan地域戦略会議が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組について継続実施。</li><li>・胆振・日高バスマップを各市町のＨＰにリンク。</li><li>・市町デマンドバスの運行情報の提供や啓発、周知活動等の取組の継続実施。</li><li>・各市町ＨＰと道南バスＨＰの相互リンクを継続実施し、定期的（ダイヤ改正時等）に情報やアドレス先の確認を行い、必要に応じ修正。</li><li>・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、計画的な修繕や清掃の実施・検討。</li><li>・バスの「乗り方教室」の検討。</li></ul>	<p>（利用促進）</p> <p>公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。</p> <p>【基準年：令和6年3月末時点（令和5年度実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経常収益 61,468,162円</li><li>・経常費用 118,289,247円</li><li>・経常収支 ▲56,821,085円</li><li>・収支率 51.9%</li></ul> <p>【取組目標年：令和7補助年度】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経常収益 62,575,162円（約1,107千円増加）</li><li>・経常費用 118,289,247円（増減なし）</li><li>・経常収支 ▲55,714,085円</li><li>・収支率 52.9%（収支改善率1.0%）</li></ul>	51.9%	82.4%	52.9%	
R7		日勝線①	<p>（利用促進）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各町発行の広報紙を活用し公共交通に関するＰＲを実施。</li><li>・高校生への通学費助成事業の継続実施：浦河町・様似町</li><li>・浦河シニアバスポート事業（敬老乗車証）の継続実施：浦河町・ジェイアールバス</li><li>・各町ＨＰとジェイアール北海道バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載を継続実施。</li><li>・ジェイ・アール北海道バス及び各町、nittan地域戦略会議が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組について継続実施。</li><li>・町の声掛けによる自家用車を使わず、バスを利用する「ノーマイカーデー」の実施。</li><li>・胆振・日高バスマップを各町のＨＰにリンク。</li><li>・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、計画的な修繕や清掃の検討。</li><li>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のポスター掲示や車内放送を流すことにより、バスの安全性をＰＲし、利用を促進。</li><li>・ＩＣカードの導入によるスムーズな乗降者で利用を促進</li><li>・低床車導入のバリアフリー化による身障者等の利用促進</li></ul>	<p>◎左記の取り組みを行うことで利用増を見込む。</p> <p>【R06見込額】R06.3現在</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経常収益 15,740,110円</li><li>・経常費用 46,285,743円</li><li>・経常収支 ▲30,545,633円</li><li>・収支率 34.0%</li></ul> <p>【取組目標年：令和7補助年度】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経常収益 27,570,214円</li><li>・経常費用 69,001,995円</li><li>・経常収支 ▲41,431,781円</li><li>・収支率 40.0%</li></ul>	50.7%	34.0%	40.0%	
R7		日勝線②	<p>（利用促進）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各町発行の広報紙を活用し公共交通に関するＰＲを実施。</li><li>・高校生への通学費助成事業の継続実施：浦河町・様似町</li><li>・浦河シニアバスポート事業（敬老乗車証）の継続実施：浦河町・ジェイアールバス</li><li>・各町ＨＰとジェイアール北海道バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載を継続実施。</li><li>・ジェイ・アール北海道バス及び各町、nittan地域戦略会議が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組について継続実施。</li><li>・町の声掛けによる自家用車を使わず、バスを利用する「ノーマイカーデー」の実施。</li><li>・胆振・日高バスマップを各町のＨＰにリンク。</li><li>・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、計画的な修繕や清掃の検討。</li><li>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のポスター掲示や車内放送を流すことにより、バスの安全性をＰＲし、利用を促進。</li><li>・ＩＣカードの導入によるスムーズな乗降者で利用を促進</li><li>・低床車導入のバリアフリー化による身障者等の利用促進</li></ul>	<p>◎左記の取り組みを行うことで利用増を見込む。</p> <p>【R06見込額】R06.3現在</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経常収益 27,354,872円</li><li>・経常費用 54,519,410円</li><li>・経常収支 ▲27,164,538円</li><li>・収支率 50.2%</li></ul> <p>【取組目標年：令和7補助年度】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経常収益 50,992,068円</li><li>・経常費用 127,767,485円</li><li>・経常収支 ▲76,775,417円</li><li>・収支率 39.9%</li></ul>	35.3%	50.2%	39.9%	





表(2) 地域協議会が平日1日当たりの運行回数が2回以上で足りると認めた広域生活交通路線の概要

番号	系統名	理 由	運行回数	
			土曜	日曜祝日

該当なし

(記載要領)

- ・「番号」の欄には、今年度補助を受けようとする路線の一連番号から抽出して記載
- ・「系統名」の欄は、「番号」の欄に対応した系統を記載
- ・「理由」の欄は、生活交通の確保に支障がないとした理由を記載

生活交通路線確保維持計画(広域生活交通路線等)

表(3) 市町村生活バス路線の概要

[illegible]

表(4) 市町村単独補助路線の概要

年度	系統名	起点・終点(経由地)			キロ程 (km)	経常欠損 (千円)	補助見込 額(千円)	バス事業者名	複数・ 同一市 町村路 線の別	過疎市 町村・ それ以 外の別	関係市町村名	備 考	総合振興 局・振興局 名	局番 号
		起 点	経由地	終 点										
6	日高沿岸線①	平取	上厚真・ 沼ノ端駅 北口	苫小牧 駅前	61.5	8,084	3,686	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) むかわ町(鵜 川町) 厚真町 苫小 牧市	R5補助対象	胆振総合振 興局 日高振興局	15
6	日高沿岸線②	平取	新冠温 泉レ・ コードの 湯	静内	52.3	11,078	5,879	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) 新冠町 新ひ だか町(静内町)	R5補助対象 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
6	日高沿岸線⑤	平取	富川高 校前	静内	55.1	10,165	7,113	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) 新冠町 新ひ だか町(静内町)	R5補助対象 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
6	日高沿岸線⑧	静内	静内温 泉	三石温 泉	32.4	1,923	1,346	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内 町、三石町)	R5補助対象	日高振興局	5
6	日高縦貫線①	門別警 察署前	荷葉	平取	12.8	184	127	道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 平 取町	R5補助対象	日高振興局	5
6	日高縦貫線②	平取		平取温 泉	7.5	332	232	道南バス㈱	同一	過疎	平取町	R5補助対象	日高振興局	5
6	日高縦貫線③	富川高 校前	富川市 街	平取	14.3	2,407	1,684	道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 平 取町	R5補助対象	日高振興局	5
6	日高縦貫線④	平取	平取温 泉	振内案 内所前	25.5	3,175	2,222	道南バス㈱	同一	過疎	平取町	R5補助対象	日高振興局	5
6	日高縦貫線⑦	平取	平取温 泉・振内 案内所	日高ターミ ナル	51.5	5,265	3,685	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(日 高町)	R5補助対象	日高振興局	5
6	富内線④	富川高 校前	平取温 泉・振内 案内所	新日東	50.9	5,251	5,251	道南バス㈱	複数		日高町(門別町、日 高町) 平取町	R5補助対象	日高振興局	5
6	富内線⑤	日高ターミ ナル	振内案 内所 平取温 泉	富川高 校前	65.9	12,622	12,622	道南バス㈱	複数		日高町(門別町、日 高町) 平取町	R5補助対象	日高振興局	5
6	富内線⑦	富川高 校前	振内案 内所前	日高ターミ ナル	64.9	8,030	8,030	道南バス㈱	複数		日高町(門別町、日 高町) 平取町	R5補助対象	日高振興局	6
6	清水丘柏台線①	静内	清水丘 団地・柏 台	静内	14.6	7,526	5,268	道南バス㈱	同一	過疎	新ひだか町(静内町)	R5補助対象	日高振興局	5
6	清水丘柏台線②	清水丘 公園前	柏台	静内	10.0	751	525	道南バス㈱	同一	過疎	新ひだか町(静内町)	R5補助対象	日高振興局	5
6	日高縦貫線⑨	富川高 校前	平取	振内案 内所前	39.1	3,314	2,320	道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 平 取町	R5補助対象	日高振興局	5
6	日高縦貫線⑩	振内案 内所前	荷負	平取	24.5	500	349	道南バス㈱	同一	過疎	平取町	R5補助対象	日高振興局	5
6	日高沿岸線	静内	富川市 街	鵜川駅 前	50.4	4,887	4,887	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内町) 新冠町 日高町(門 別町) 鵜川町	R5補助対象 R6.4.1経路変更	胆振総合振 興局 日高振興局	15
6	日高沿岸線	静内	富川市 街	富川高 校前	40.8	3,549	1,338	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内町) 新冠町 日高町(門 別町)	R5補助対象 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
6	日高沿岸線	平取	富川市 街	鵜川駅 前	23.9	215	215	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) 鵜川町	R5補助対象	胆振総合振 興局 日高振興局	15
6	日高沿岸線	富川高 校前	静内	静内高 校前	41.9			道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 新 新冠町 新ひだか町 (静内町)	R6.4.1経路変更	日高振興局	5
6	日高沿岸線	厚賀第 一	静内	静内高 校前	17.9			道南バス㈱	複数		新冠町 新ひだか町 (静内町)	R6.4.1経路変更	日高振興局	5
6	御 園 線	静内	桜丘小 学校	農 屋	16.5	17,969	3,641	道南バス㈱	同一	過疎	新ひだか町(静内町)	R5補助対象 R6.9.30廃止予定	日高振興局	5
6	日高沿岸線	静内	富川市街	富川	39.5	323	323	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内町) 新冠町 日高町(門 別町)	新規 R6.4.1経路変更	日高振興局	5

表(4) 市町村単独補助路線の概要

年度	系統名	起点・終点(経由地)			キロ程 (km)	経常欠損 (千円)	補助見込 額(千円)	バス事業者名	複数・ 同一市 町村路 線の別	過疎市 町村・ それ以 外の別	関係市町村名	備 考	総合振興 局・振興局 名	局番 号
		起 点	経由地	終 点										
7	日高沿岸線①	平取	上厚真・ 沼ノ端駅 北口	苫小牧 駅前	61.5	8,084	3,686	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) むかわ町(鵜 川町) 厚真町 苫小 牧市	R5補助対象	胆振総合振 興局 日高振興局	15
7	日高沿岸線②	平取	新冠温 泉レ・ コードの 湯	静内	52.3	11,078	5,879	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) 新冠町 新ひ だか町(静内町)	R5補助対象 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
7	日高沿岸線⑤	平取	富川高 校前	静内	55.1	10,165	7,113	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) 新冠町 新ひ だか町(静内町)	R5補助対象 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
7	日高沿岸線⑧	静内	静内温 泉	三石温 泉	32.4	1,923	1,346	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内 町、三石町)	R5補助対象	日高振興局	5
7	日高縦貫線①	門別警 察署前	荷葉	平取	12.8	184	127	道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 平 取町	R5補助対象	日高振興局	5
7	日高縦貫線②	平取		平取温 泉	7.5	332	232	道南バス㈱	同一	過疎	平取町	R5補助対象	日高振興局	5
7	日高縦貫線③	富川高 校前	富川市 街	平取	14.3	2,407	1,684	道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 平 取町	R5補助対象	日高振興局	5
7	日高縦貫線④	平取	平取温 泉	振内案 内所前	25.5	3,175	2,222	道南バス㈱	同一	過疎	平取町	R5補助対象	日高振興局	5
7	日高縦貫線⑦	平取	平取温 泉・振内 案内所	日高ターミ ナル	51.5	5,265	3,685	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(日高 町)	R5補助対象	日高振興局	5
7	富内線④	富川高 校前	平取温 泉・振内 案内所	新日東	50.9	5,251	5,251	道南バス㈱	複数		日高町(門別町、日 高町) 平取町	R5補助対象	日高振興局	5
7	富内線⑤	日高ターミ ナル	振内案 内所 平取温 泉	富川高 校前	65.9	12,622	12,622	道南バス㈱	複数		日高町(門別町、日 高町) 平取町	R5補助対象	日高振興局	5
7	富内線⑦	富川高 校前	振内案 内所前	日高ターミ ナル	64.9	8,030	8,030	道南バス㈱	複数		日高町(門別町、日 高町) 平取町	R5補助対象	日高振興局	6
7	清水丘柏台線①	静内	清水丘 団地・柏 台	静内	14.6	7,526	5,268	道南バス㈱	同一	過疎	新ひだか町(静内町)	R5補助対象	日高振興局	5
7	清水丘柏台線②	清水丘 公園前	柏台	静内	10.0	751	525	道南バス㈱	同一	過疎	新ひだか町(静内町)	R5補助対象	日高振興局	5
7	日高縦貫線⑨	富川高 校前	平取	振内案 内所前	39.1	3,314	2,320	道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 平 取町	R5補助対象	日高振興局	5
7	日高縦貫線⑩	振内案 内所前	荷負	平取	24.5	500	349	道南バス㈱	同一	過疎	平取町	R5補助対象	日高振興局	5
7	日高沿岸線	静内	富川市 街	鵜川駅 前	50.4	4,887	4,887	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内町) 新冠町 日高町(門 別町) 鵜川町	R5補助対象 R6.4.1経路変更	胆振総合振 興局 日高振興局	15
7	日高沿岸線	静内	富川市 街	富川高 校前	40.8	3,549	1,338	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内町) 新冠町 日高町(門 別町)	R5補助対象 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
7	日高沿岸線	平取	富川市 街	鵜川駅 前	23.9	215	215	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) 鵜川町	R5補助対象	胆振総合振 興局 日高振興局	15
7	日高沿岸線	富川高 校前	静内	静内高 校前	41.9			道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 新 新冠町 新ひだか町 (静内町)	R6.4.1経路変更	日高振興局	5
7	日高沿岸線	厚賀第 一	静内	静内高 校前	17.9			道南バス㈱	複数		新冠町 新ひだか町 (静内町)	R6.4.1経路変更	日高振興局	5
7	日高沿岸線	静内	富川市街	富川	39.5	323	323	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内町) 新冠町 日高町(門 別町)	新規 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
7	日高沿岸線	静内	静内温 泉 三石温 泉	浦河老 人ホーム 前	49.7	9,093	3,314	道南バス㈱	複数		新ひだか(静内 三石) 浦河	R5国補助対 象	日高振興局	5
7	日高沿岸線	静内	静内温 泉・三石 温泉	浦河老 人ホーム 前	59.4	18,915	7,301	道南バス㈱	複数		新ひだか(静内 三石) 浦河	R5国補助対 象	日高振興局	5
7	日高沿岸線	静内	三石温 泉	浦河老 人ホーム 前	57.0	6,248	2,920	道南バス㈱	複数		新ひだか(静内 三石) 浦河	R5国補助対 象	日高振興局	5

7	日高沿岸線	静内	静内温泉 三石温泉	浦河老人ホーム 前	50.2	5,783	2,844	道南バス株	複数		新ひだか(静内 三石) 浦河	R5国補助対象
---	-------	----	--------------	--------------	------	-------	-------	-------	----	--	-------------------	---------

## 生活交通路線確保維持計画(広域生活交通路線等)

表(4) 市町村単独補助路線の概要

年度	系統名	起点・終点(経由地)			キロ程 (km)	経常欠損 (千円)	補助見込 額(千円)	バス事業者名	複数・ 同一市 町村路 線の別	過疎市 町村・ それ以 外の別	関係市町村名	備 考	総合振興 局・振興局 名	局番 号
		起 点	経由地	終 点										
8	日高沿岸線①	平取	上厚真・ 沼ノ端駅 北口	苫小牧 駅前	61.5	8,084	3,686	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) むかわ町(鵜 川町) 厚真町 苫小 牧市	R5補助対象	胆振総合振 興局 日高振興局	15
8	日高沿岸線②	平取	新冠温 泉レ・ コードの 湯	静内	52.3	11,078	5,879	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) 新冠町 新ひ だか町(静内町)	R5補助対象 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
8	日高沿岸線⑤	平取	富川高 校前	静内	55.1	10,165	7,113	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) 新冠町 新ひ だか町(静内町)	R5補助対象 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
8	日高沿岸線⑧	静内	静内温 泉	三石温 泉	32.4	1,923	1,346	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内 町、三石町)	R5補助対象	日高振興局	5
8	日高縦貫線①	門別警 察署前	荷葉	平取	12.8	184	127	道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 平 取町	R5補助対象	日高振興局	5
8	日高縦貫線②	平取		平取温 泉	7.5	332	232	道南バス㈱	同一	過疎	平取町	R5補助対象	日高振興局	5
8	日高縦貫線③	富川高 校前	富川市 街	平取	14.3	2,407	1,684	道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 平 取町	R5補助対象	日高振興局	5
8	日高縦貫線④	平取	平取温 泉	振内案 内所前	25.5	3,175	2,222	道南バス㈱	同一	過疎	平取町	R5補助対象	日高振興局	5
8	日高縦貫線⑦	平取	平取温 泉・振内 案内所	日高ターミ ナル	51.5	5,265	3,685	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(日高 町)	R5補助対象	日高振興局	5
8	富内線④	富川高 校前	平取温 泉・振内 案内所	新日東	50.9	5,251	5,251	道南バス㈱	複数		日高町(門別町、日 高町) 平取町	R5補助対象	日高振興局	5
8	富内線⑤	日高ターミ ナル	振内案 内所 平取温 泉	富川高 校前	65.9	12,622	12,622	道南バス㈱	複数		日高町(門別町、日 高町) 平取町	R5補助対象	日高振興局	5
8	富内線⑦	富川高 校前	振内案 内所前	日高ターミ ナル	64.9	8,030	8,030	道南バス㈱	複数		日高町(門別町、日 高町) 平取町	R5補助対象	日高振興局	6
8	清水丘柏台線①	静内	清水丘 団地・柏 台	静内	14.6	7,526	5,268	道南バス㈱	同一	過疎	新ひだか町(静内町)	R5補助対象	日高振興局	5
8	清水丘柏台線②	清水丘 公園前	柏台	静内	10.0	751	525	道南バス㈱	同一	過疎	新ひだか町(静内町)	R5補助対象	日高振興局	5
8	日高縦貫線⑨	富川高 校前	平取	振内案 内所前	39.1	3,314	2,320	道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 平 取町	R5補助対象	日高振興局	5
8	日高縦貫線⑩	振内案 内所前	荷負	平取	24.5	500	349	道南バス㈱	同一	過疎	平取町	R5補助対象	日高振興局	5
8	日高沿岸線	静内	富川市 街	鵜川駅 前	50.4	4,887	4,887	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内町) 新冠町 日高町(門 別町) 鵜川町	R5補助対象 R6.4.1経路変更	胆振総合振 興局 日高振興局	15
8	日高沿岸線	静内	富川市 街	富川高 校前	40.8	3,549	1,338	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内町) 新冠町 日高町(門 別町)	R5補助対象 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
8	日高沿岸線	平取	富川市 街	鵜川駅 前	23.9	215	215	道南バス㈱	複数		平取町 日高町(門 別町) 鵜川町	R5補助対象	胆振総合振 興局 日高振興局	15
8	日高沿岸線	富川高 校前	静内	静内高 校前	41.9			道南バス㈱	複数		日高町(門別町) 新 新冠町 新ひだか町 (静内町)	R6.4.1経路変更	日高振興局	5
8	日高沿岸線	厚賀第 一	静内	静内高 校前	17.9			道南バス㈱	複数		新冠町 新ひだか町 (静内町)	R6.4.1経路変更	日高振興局	5
8	日高沿岸線	静内	富川市街	富川	39.5	323	323	道南バス㈱	複数		新ひだか町(静内町) 新冠町 日高町(門 別町)	新規 R6.4.1経路変更	日高振興局	5
8	日高沿岸線	静内	静内温 泉 三石温 泉	浦河老 人ホーム 前	49.7	9,093	3,314	道南バス㈱	複数		新ひだか(静内 三石) 浦河	R5国補助対 象	日高振興局	5
8	日高沿岸線	静内	静内温 泉・三石 温泉	浦河老 人ホーム 前	59.4	18,915	7,301	道南バス㈱	複数		新ひだか(静内 三石) 浦河	R5国補助対 象	日高振興局	5
8	日高沿岸線	静内	三石温 泉	浦河老 人ホーム 前	57.0	6,248	2,920	道南バス㈱	複数		新ひだか(静内 三石) 浦河	R5国補助対 象	日高振興局	5

8	日高沿岸線	静内	静内温泉 三石温泉	浦河老人ホーム 前	50.2	5,783	2,844	道南バス株	複数		新ひだか(静内 三石) 浦河	R5国補助対象
---	-------	----	--------------	--------------	------	-------	-------	-------	----	--	-------------------	---------

## 表(5) 地域内フィーダー系統の概要

年度	運行系統名	乗合型：起点・終点(経由地) デマンド型：発地・着地(営業区域)			キロ程 (km) ※乗合型の み記入	計画運行 日数 (日)	計画運行 回数 (回)	再編 特例 措置	運行事業者名	接続する地域間幹線 バス系統、鉄軌道 駅、海港及び空港	関係市町村名	備 考	総合振興 局・振興局 名	局番 号
		起 点	経由地	終 点										
		発 地	営業区域	着 地										
5	千栄線	伊沢宅	日高地域	日高総合 支所	21.6	296.0	888.0		日高ハイヤー 有限公司	道南バス	日高町			
5	広富線	鳩内	門別地域	富川高校	37.8	296.0	1,249.0		有限公司日高 観光バス	道南バス、JR富川 駅、JR日高門別駅	日高町			
5	豊郷線	新生	門別地域	富川高校	28.4	296.0	742.0		有限公司日高 観光バス	道南バス、JR富川 駅、JR日高門別駅	日高町			
5	新和太陽古岸線 午前便	農協スタン ド横	新和土井 宅前	新冠温泉 前	103.4	206.0	206.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
5	新和太陽古岸線 午後便	農協スタン ド横	新和土井 宅前	新冠温泉 前	103.1	206.0	206.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
5	美宇東川線 午前便	農協スタン ド横	美宇早川 宅前	新冠温泉 前	74.3	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町及び日高町			
5	美宇東川線 午後便	農協スタン ド横	美宇早川 宅前	新冠温泉 前	74.0	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町及び日高町			
5	若園大富線 午前便	農協スタン ド横	若園滑若 橋前	新冠温泉 前	60.0	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
5	若園大富線 午後便	農協スタン ド横	若園滑若 橋前	新冠温泉 前	59.7	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
6	千栄線	伊沢宅	日高地域	日高総合 支所	21.6	296.0	888.0		日高ハイヤー 有限公司	道南バス	日高町			
6	広富線	鳩内	門別地域	富川高校	37.8	296.0	1,249.0		有限公司日高 観光バス	道南バス、JR富川 駅、JR日高門別駅	日高町			
6	豊郷線	新生	門別地域	富川高校	28.4	296.0	742.0		有限公司日高 観光バス	道南バス、JR富川 駅、JR日高門別駅	日高町			
6	新和太陽古岸線 午前便	農協スタン ド横	新和土井 宅前	新冠温泉 前	103.4	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
6	新和太陽古岸線 午後便	農協スタン ド横	新和土井 宅前	新冠温泉 前	103.1	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
6	美宇東川線 午前便	農協スタン ド横	美宇早川 宅前	新冠温泉 前	74.3	206.0	206.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町及び日高町			
6	美宇東川線 午後便	農協スタン ド横	美宇早川 宅前	新冠温泉 前	74.0	206.0	206.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町及び日高町			
6	若園大富線 午前便	農協スタン ド横	若園滑若 橋前	新冠温泉 前	60.0	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
6	若園大富線 午後便	農協スタン ド横	若園滑若 橋前	新冠温泉 前	59.7	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
7	千栄線	伊沢宅	日高地域	日高総合 支所	21.6	296.0	888.0		日高ハイヤー 有限公司	道南バス	日高町			
7	広富線	鳩内	門別地域	富川高校	37.8	296.0	1,249.0		有限公司日高 観光バス	道南バス、JR富川 駅、JR日高門別駅	日高町			
7	豊郷線	新生	門別地域	富川高校	28.4	296.0	742.0		有限公司日高 観光バス	道南バス、JR富川 駅、JR日高門別駅	日高町			
7	新和太陽古岸線 午前便	農協スタン ド横	新和土井 宅前	新冠温泉 前	103.4	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
7	新和太陽古岸線 午後便	農協スタン ド横	新和土井 宅前	新冠温泉 前	103.1	207.0	207.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
7	美宇東川線 午前便	農協スタン ド横	美宇早川 宅前	新冠温泉 前	74.3	205.0	205.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町及び日高町			
7	美宇東川線 午後便	農協スタン ド横	美宇早川 宅前	新冠温泉 前	74.0	205.0	205.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町及び日高町			
7	若園大富線 午前便	農協スタン ド横	若園滑若 橋前	新冠温泉 前	60.0	206.0	206.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			
7	若園大富線 午後便	農協スタン ド横	若園滑若 橋前	新冠温泉 前	59.7	206.0	206.0	-	(有)新冠中央運 輸	道南バス(株)	新冠町			



総括表 日高地域生活交通路線維持確保3カ年計画〔令和6（2024）～8年度（2026）〕  
 (R6（2024）.9.30見込み)

	路線名	起点	主な経由地	終点	キロ程 (km)	バス事業者名	対象路線 の別	関係町	備考 (修正有無)
1	日高沿岸線	平 取	上厚真・旧ノ蘭駅北口	苫小牧駅前	61.5	道南バス㈱	4	平取 日高(門別) わかわ (豊川) 厚真 苫小牧	
2	日高沿岸線	静内	東川町・上厚真・旧ノ蘭駅北口	苫小牧駅前	91.9 91.5	道南バス㈱	1	日高(門別) 新冠 新ひだか(静内) ひかわ(豊川) 厚真 苫小牧	※主系統
3	日高沿岸線	平 取	新冠温泉・コープの森 富川駅前	静内	52.3 41.4	道南バス㈱	4	平取 日高(門別) 新冠 新ひだか(静内) 三石	R6.4.1経路変更 修正有り
4	日高沿岸線	静内	静内温泉 三石温泉	浦河老人ホーム前	49.7	道南バス㈱	1	新ひだか(静内 三石) 浦河	※副系統
5	日高沿岸線	平 取	富川高校前	静内	55.1 54.6	道南バス㈱	4	平取 日高(門別) 新冠 新ひだか(静内)	R6.4.1経路変更 修正有り
6	日高沿岸線	静内	静内温泉	三石温泉	32.4	道南バス㈱	4	新ひだか(静内 三石)	
7	日高縦貫線	門別警察署前	荷 菜	平 取	12.8	道南バス㈱	4	平取 日高(門別)	
8	日高縦貫線	平 取		平取温泉	7.5	道南バス㈱	4	平取	
9	日高縦貫線	富川高校前	富川市街	平 取	14.3	道南バス㈱	4	平取 日高(門別)	
10	日高縦貫線	平 取	平取温泉	振内案内所	25.5	道南バス㈱	4	平取	
11	日高縦貫線	平 取		富川高校前		道南バス㈱	4	平取 日高(門別)	R6.10と同一 削除
12	日高縦貫線	平 取	平取温泉	日高ターミナル	51.5	道南バス㈱	4	日高(日高) 平取	
13	御 園 線	静内	桜丘小学校	農 屋	16.5	道南バス㈱	4	新ひだか(静内)	R6.9.30廃止予定 修正有り
14	富 内 線	富川高校前	振内案内所	新日東	50.9	道南バス㈱	4	日高(日高 門別) 平取	
15	富 内 線	日高ターミナル	振内案内所 平取温泉	富川高校前	65.9	道南バス㈱	4	日高(日高 門別) 平取	
16	富 内 線	富川高校前	振内案内所前	日高ターミナル	64.9	道南バス㈱	4	日高(日高 門別) 平取	
17	清水丘柏台線	静内	清水丘団地・柏台	静内	14.6	道南バス㈱	4	新ひだか(静内)	
18	清水丘柏台線	清水丘公園前	柏台	静内	10.0	道南バス㈱	4	新ひだか(静内)	
19	日高縦貫線	富川高校前	平取	振内案内所	39.1	道南バス㈱	4	日高(門別) 平取	
20	日高縦貫線	振内案内所	荷負	平取	24.5	道南バス㈱	4	平取	
21	日 勝 線	様似営業所	アボイ山荘 えりも峠	広 尾	87.2	ジェイ・アール北海道バス㈱		様似 えりも	一部委託運行
22	日 勝 線	様似営業所	アボイ山荘 えりも峠	岬小学校	41.8	ジェイ・アール北海道バス㈱		様似 えりも	
23	日 勝 線	様似営業所	アボイ山荘 えりも峠	庶 野	55.9	ジェイ・アール北海道バス㈱		様似 えりも	
24	日 勝 線	様似営業所	千 平	広 尾	74.8	ジェイ・アール北海道バス㈱		様似 えりも	一部委託運行
25	日 勝 線	様似営業所		えりも郷土資料館	26.3	ジェイ・アール北海道バス㈱		様似 えりも	
26	日 勝 線	様似営業所		鶴苔沢	7.5	ジェイ・アール北海道バス㈱		様似	
27	日 勝 線	浦河老人ホーム前	緑町・向別	上野深	29.6	ジェイ・アール北海道バス㈱		浦河	一部委託運行
28	日 勝 線	様似営業所	向 別	向 別	24.2	ジェイ・アール北海道バス㈱	1	浦河 様似	
29	日 勝 線	様似小学校		留 崎	15.4	ジェイ・アール北海道バス㈱		様似 えりも	
30	日 勝 線	様似営業所	アボイ山荘	えりも郷土資料館	29.2	ジェイ・アール北海道バス㈱		様似 えりも	
31	日 勝 線	様似営業所	様似小学校	えりも郷土資料館	26.6	ジェイ・アール北海道バス㈱		様似 えりも	
32	日 勝 線	様似営業所	様似小学校	向 別	24.8	ジェイ・アール北海道バス㈱		浦河 様似	一部委託運行
33	日 勝 線	様似営業所	急行	静内	60.4	ジェイ・アール北海道バス㈱		新ひだか(静内 三石) 浦河 様似	
34	日 勝 線	様似営業所	急行	静内高校前	61.4	ジェイ・アール北海道バス㈱		新ひだか(静内 三石) 浦河 様似	
35	日 勝 線	秋伏		静内高校前	46.4	ジェイ・アール北海道バス㈱		新ひだか(静内 三石) 浦河	
36	日 勝 線	様似営業所		静内	81.1	ジェイ・アール北海道バス㈱		新ひだか(静内 三石) 浦河 様似	
37	広富線	富川高校前	門別本町 富川市街	鳩 内	37.8	(有)日高観光バス	5	日高(門別)	町直営デマンドバス 地区内フリーダー
38	豊郷線	富川高校前	門別本町 富川市街	新 生	28.4	(有)日高観光バス	5	日高(門別)	町直営デマンドバス 地区内フリーダー
39	清昌線	富川高校前	門別本町 富川市街	上清昌	28.0	(有)日高観光バス		日高(門別)	町直営デマンドバス 地区から地域内フリーダー等請 取あり
40	占 冠 線	日高町日高総合支所前	双珠別	占冠駅	17.8	日高ハイヤー(有)		日高(日高) 占冠村	
41	千 栄 線	日高町日高総合支所前	千栄市街	伊沢宅	21.6	日高ハイヤー(有)	5	日高(日高)	一般デマンドバス運行 地区内フリーダー
42	千 栄 線	日高町日高総合支所前	千栄市街	ウエスタンファーム	14.0	日高ハイヤー(有)		日高(日高)	一般デマンドバス運行 地区内フリーダー
43	千 栄 線	日高町日高総合支所前	千栄市街	千栄7区	8.8	日高ハイヤー(有)		日高(日高)	一般デマンドバス運行 地区内フリーダー
44	岩内ダム線	日高町日高総合支所前	若葉団地 富岡	岩内ダム	12.7	日高ハイヤー(有)		日高(日高)	一般デマンドバス運行 地区から地域内フリーダー等請 取あり
45	町内循環バス線	日高町日高総合支所前	若葉団地・新光団 地・宮下団地	老人福祉センター前	9.0	日高ハイヤー(有)		日高(日高)	
46	厚賀富川線	厚賀駅前	厚賀・門別本 町・富川市街	富川駅	24.0	(有)厚賀ハイヤー		日高(門別)	町直営デマンドバス
47	日高門別線	日高総合支所	門別本町・富川 市街	日高門別駅	66.3	日高ハイヤー(有)		日高(日高)	町直営デマンドバス
48	本町地区デマ ンドバス	平取町平取総合支所前	本町・豊栄・東 雲古津・去場地	平取町本町67番地1	19.0	(有)平取ハイヤー		平取	地区内フリーダー
49	振内地区デ マンドバス	平取町平取総合支所前	振内・若知志地 区	平取町平取総合支所前	12.5	(有)振内交通		平取	地区内フリーダー
50	厚賀太陽線	厚賀駅前	厚賀市街	三和小学校	48.1	(有)厚賀ハイヤー		新冠 日高(門別)	町直営デマンドバス
51	A路線(上り)	新冠町字東川 71-5	東川・古岸・緑 丘・朝日・高江	新冠町字本町 110-17	27.4	(有)新冠中央運輸		新冠	町直営コミュニティバス
52	A路線(下り)	新冠町字中央町 1-4	高江・朝日・緑 丘・古岸・東川	新冠町字東川 71-2	22.0	(有)新冠中央運輸		新冠	町直営コミュニティバス
53	B路線(上り)	新冠町字本町 110-17	東川・古岸・明和 園・古岸・明和	新冠町字本町 110-17	16.5	(有)新冠中央運輸		新冠	町直営コミュニティバス 修正
54	B路線(下り)	新冠町字本町 110-17	東川・古岸・明和 園・古岸・明和	新冠町字本町 110-17	22.0	(有)新冠中央運輸		新冠	町直営コミュニティバス 削除
55	泉線(上り)	新冠町字泉 207-3	高江・朝日・万 能・明和・新栄	新冠町字北星町 2-16	24.7	(有)新冠中央運輸		新冠	町直営デマンドバス
56	泉線(下り)	新冠町字中央町 1-4	若園・古岸・緑 丘・朝日・高江	新冠町字泉 207-3	22.5	(有)新冠中央運輸		新冠	町直営デマンドバス
57	新和太陽古岸線 午前便	新冠町字西泊津16-3	新和土井宅前	新冠町字北星町2-16	103.4	(有)新冠中央運輸	5	新冠	町直営コミュニティバス 地域内フリーダー
58	新和太陽古岸線 午後便	新冠町字西泊津16-3	新和土井宅前	新冠町字北星町2-16	103.1	(有)新冠中央運輸	5	新冠	町直営コミュニティバス 地域内フリーダー
59	美字東川線 午前便	新冠町字西泊津16-3	美字早川宅前	新冠町字北星町2-16	74.3	(有)新冠中央運輸	5	新冠	町直営コミュニティバス 地域内フリーダー
60	美字東川線 午後便	新冠町字西泊津16-3	美字早川宅前	新冠町字北星町2-16	74.0	(有)新冠中央運輸	5	新冠	町直営コミュニティバス 地域内フリーダー
61	若園大富線 午前便	新冠町字西泊津16-3	若園津若橋前	新冠町字北星町2-16	60.0	(有)新冠中央運輸	5	新冠	町直営コミュニティバス 地域内フリーダー
62	若園大富線 午後便	新冠町字西泊津16-3	若園津若橋前	新冠町字北星町2-16	59.7	(有)新冠中央運輸	5	新冠	町直営コミュニティバス 地域内フリーダー
63	杵 臼 線	日高幌別駅	杵 臼	上杵臼農協前	22.5	日交ハイヤー㈱	4	浦河	地区補助対象
64	向 別 線	旧浦河一中前	向 別	上目名太	9.1	日交ハイヤー㈱	7	浦河	地区より休止
65	日高沿岸線	静内	上厚真・旧ノ蘭駅北口	苫小牧駅前	87.9 87.5	道南バス㈱	1	日高(門別) 新冠 新ひだか(静内) ひかわ(豊川) 厚真 苫小牧	※主系統
66	日高沿岸線	静内	富川市街・西埠頭通	苫小牧駅前	84.6 84.4	道南バス㈱	1	日高(門別) 新冠 新ひだか(静内) ひかわ(豊川) 厚真 苫小牧	R6.4.1経路変更 修正有り
67	日高沿岸線	静内	静内温泉・三石温泉	浦河老人ホーム前	59.4	道南バス㈱	1	新ひだか(静内 三石) 浦河	※主系統
68	日高沿岸線	静内	静内温泉・三石温泉	浦河老人ホーム前	57.0	道南バス㈱	1	新ひだか(静内 三石) 浦河	※副系統
69	日高沿岸線	静内	静内温泉・三石温泉	浦河老人ホーム前	50.2	道南バス㈱	1	新ひだか(静内 三石) 浦河	※副系統
70	日高沿岸線	平取	富川市街	鵲川駅前	23.9	道南バス㈱	4	平取 日高(門別) わかわ(豊川)	
71	日高沿岸線	静内	富川市街	鵲川駅前	50.4 49.8	道南バス㈱	4	日高(門別) 新冠 新ひだか(静内) ひかわ(豊川)	R6.4.1経路変更 修正有り
72	日高沿岸線	静内	富川市街	富川高校前	40.8 40.4	道南バス㈱	4	日高(門別) 新冠 新ひだか(静内)	R6.4.1経路変更 修正有り
73	日高沿岸線	富川高校前	静内	静内高校前	41.9 41.4	道南バス㈱	4	日高(門別) 新冠 新ひだか(静内)	R6.4.1経路変更 修正有り
74	日高沿岸線	厚賀第一	静内	静内高校前	47.9 47.4	道南バス㈱	4	新冠 新ひだか(静内)	R6.4.1経路変更 修正有り
75	日高沿岸線	静内	富川市街	富川	39.5 40.3	道南バス㈱	4	日高(門別) 新冠 新ひだか(静内)	R6.4.1系統新設 追加
76	静内A地区デ マンドバス (昼間便)	目名・田原・ 豊原・御園・ 農屋に在住の 利用者住所地 先	静内	旧静内駅	11.3	未定		新ひだか(静内)	R6.10.1～実証 運行 R8.4.1～本格運 行 追加
77	静内A地区デ マンドバス (通学便)	静内農屋45-1 地先	静内	静内高校前	16.0	未定		新ひだか(静内)	R6.10.1～実証 運行 R8.4.1～本格運 行 追加
78	静内B地区デ マンドバス	高嶺・浦和・ 西川・川合・ 東静内に在住 の利用者住所 地先	静内	旧静内駅	9.8	未定		新ひだか(静内)	R7.4.1～実証運 行 R8.4.1～本格運 行 追加
79	静内C地区デ マンドバス	東別・西端・ 春立に在住の 利用者住所地 先	静内	旧静内駅	10.1	未定		新ひだか(静内)	R7.4.1～実証運 行 R8.4.1～本格運 行 追加
80	静内市街地デ マンドバス	静内市街地に 設定した乗降 所ポイント	静内	静内市街地に 設定した乗降 所ポイント	2.5	未定		新ひだか(静内)	R7.10.1～実証 運行 R9.4.1～本格運 行 追加
81	三石D地区デ マンドバス	越前町・港 町・三石本 町・三石旭町 に在住の利用 者住所地先	三石	三石総合市民センター	1.2	未定		新ひだか(三石)	R7.10.1～実証 運行 R9.4.1～本格運 行 追加
82	三石E地区デ マンドバス	東蓬来・西蓬 来・豊岡・富 澤・蓬来・福 畑に在住の利 用者住所地先	三石	三石総合市民センター	1.9	未定		新ひだか(三石)	R7.10.1～実証 運行 R9.4.1～本格運 行 追加
83	三石F地区デ マンドバス	歌留・川上・ 稲見・清瀬に 在住の利用者 住所地先	三石	三石総合市民センター	14.2	未定		新ひだか(三石)	R7.10.1～実証 運行 R9.4.1～本格運 行 追加
84	三石G地区デ マンドバス	歌舞・本原・ 美野和に在住 の利用者住所 地先	三石	三石総合市民センター	6.9	未定		新ひだか(三石)	R7.10.1～実証 運行 R9.4.1～本格運 行 追加
85	はまなす旧静 内駅間デマン ドバス	三石総合市民 センターまたは 旧静内駅	三石	三石総合市民センター	21.1	未定		新ひだか(静内 三石)	R7.10.1～実証 運行 R9.4.1～本格運 行 追加

(注) 「複数・同一市町村路線の別」…1＝複数市町村路線、2＝同一市町村路線  
 「過疎市町村・それ以外の別」…0＝「複数・同一市町村路線の別で1の場合、1＝過疎市町村、2＝辺地、山村市町村

※ 対象路線の別 1：地域間幹線系統(旧生活交通路線) 2：広域生活交通路線(旧準生活交通路線)  
 3：市町村生活バス路線 4：市町村単独補助路線 5：地域内フィーダー系統 空欄：それ以外  
 実績補助の場合には、計画上の位置づけが必要となることから、対象路線を複数記載している路線あり